

2024－2025 第3回ガバナー諮問委員会

GLT・会則委員会報告

～退会抑止・意欲向上の仕組み化と
新たな会員拡大へと繋がる**好循環クラブサイクルの実現**を目指して～



ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区
調和への道標 ～魂に灯をともせ～



調和への道標
～魂に**灯**をともせ～

2025年3月
GLT・会則委員会

GLT委員長 北角 強
会則委員長 池田 和弘

本日の諮問委員会で御説明すること

1. 会則委員会からのお知らせ

- ① 会員種別と会費
- ② 出席率算定方法

2. GLT委員会の事業紹介

3. GLT委員会からのお願い

- ① 全体像と目標
- ② 短期的施策
- ③ 中期的施策
- ④ 優良事例の紹介
- ⑤ 今後の方向性

4. まとめと討議・情報共有のお願い



ライオンズクラブ 国際協会
335-B 地区
調和への道標 一境にひとつの心



1. 会則委員会からのお知らせ | ① 会員種別と会費



335-B地区における会員種別による会費及び出席率の算定方法

2025年1月15日現在

種別		会費即時支払い			クラブ活動参加	良い印象を与える言動	クラブ、地区又は国際への立候補	投票権・自身が代議員になる資格	地区又は国際大会の代議員数算出の対象	出席率の算出対象
		クラブ	地区	国際						
正会員		必要	必要	必要	必要	必要	有	有	対象になる	対象
支部会員		必要	必要	必要	必要	必要	有	有	対象になる	出席した時に対象
賛助会員		必要	必要	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる	出席した時に対象
準会員		必要	必要なし	必要なし	可能な時	必要	無	地区大会(第1クラブ)クラブ事項(第1及び第2クラブ)	対象にならない	出席した時に対象
特典会員	家族会員プログラムに該当	必要	必要(1/2)	必要(1/2)	必要	必要	有	有	対象にならない	対象
	学生会員プログラムに該当	必要	必要(複合については免除)	必要(1/2)	必要	必要	有	有	対象にならない	対象
名誉会員		必要なし	必要(クラブが支払う)	必要(クラブが支払う)	可能な時	必要	無	無	対象にならない	出席した時に対象
終身会員		必要	必要	必要なし	可能な時	必要	正会員の義務を果たしている有	正会員の義務を果たしている有	対象になる	出席した時に対象
不在会員		必要	必要	必要	可能な時	必要	無	クラブ事項のみ	対象になる	出席した時に対象
優待会員		必要	必要	必要	可能な時	必要	無	有	対象になる	出席した時に対象

左の表はライオンズ必携に記載された会員種別に関して、種別毎の会費に関する情報を会則委員会にて付加したものです。

補足事項

- ※クラブ会費については、クラブ内規によるものとします。
- ※リジョン会費・ゾーン会費は各リジョン・ゾーンの取決によるものとします。
- ※赤枠部分（学生会員プログラムの地区会費免除）について、来期検討される可能性があります。

その他、留意すべき事項

- 名誉会員：**実際の会員総数の5%を超えてはならない。端数がある場合には、更にもう一人の名誉会員が認められる。
- 賛助会員：**実際の会員総数の25%を超えてはならない。
- ※賛助会員については、クラブの正会員として全面的には活動できないが、クラブとその奉仕活動を支持しており、クラブへの賛助を希望する地域社会の優れた人物（クラブ理事会で地域社会の優れた人物と承認された人）であり、会費を安くする為の会員種別ではないという点に御留意ください。



1. 会則委員会からのお知らせ | ② 出席率算定方法

現状、各クラブの出席率の算定方法にバラつきが見られるようです。各クラブの考え方を尊重したうえで、会則委員会として標準的な算定方法とポイントを以下に示します。

- ◆まず、クラブ活動参加が必要な会員とは、正会員（全数）及び特典会員（全数）である。
- ◆加えて、支部会員・賛助会員・準会員・名誉会員・終身会員・不在会員・優待会員が出席された場合は、その出席人数を出席対象会員にプラスし母数とする。

【出席率の算定方法】

$$\text{出席率} = \text{出席者} \div \text{クラブ活動参加が必要な会員} \times 100$$



正会員（全数）及び特典会員（全数）

支部会員・賛助会員・準会員・名誉会員・終身会員・不在会員・優待会員が出席の場合は、その人数を足す。

凡例

	合計	正会員	支部会員	賛助会員	準会員	特典会員	名誉会員	終身会員	不在会員	優待会員
会員数	48	25	6	1	0	10	1	3	2	0
出席者	27	20	2	0	0	2	0	3	0	0

$$\text{出席率 } 67.5\% = \frac{\text{出席者 } 27}{\text{対象となる会員 } 40} \times 100$$



正会員25名(会員全数)
特典会員10名(会員全数)
支部会員2名(出席人数)
終身会員3名(出席人数)
合計 40名



修正出席率は出席メーク・アップ規則により、出席とみなされたものを足して計算する。

出席メーク・アップ規則については、ライオンズ必携第61版のP141に基づいたクラブ内規によるものとする。

2. GLT委員会の事業紹介



ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区
調和への道標 ～魂に灯をともしせ～



2024～2025地区ガバナーズローガン

調和への道標
～魂に灯をともしせ～

GLT 重要課題

ライオンと呼ばれる
人の育成



2. GLT委員会の事業紹介



ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区
調和への道標 一緒に力を合わせよう



Vision : ライオンと呼ばれる人の育成

Mission : 『己こそ己の寄る辺』の精神で真に自己を確立したライオンを増やすこと

Value : GLT (Global Leadership Team)

= Good Learning Team = 自ら率先して学ぶ組織作りを推進

GLT重点項目 : 新会員の交流と次世代を担うリーダーの育成

新会員スクール・交流会



新会員同期会 : GMT委員会共催
(335-B地区で初開催)



第14期次世代リーダー育成セミナー



本日のテーマ : 退会抑止と参加意欲向上

3. GLT委員会からのお願い | ① 全体像

※第2回ガバナー諮問委員会
GMT委員会資料を元に
GLT委員会にて加筆修正



目標：好循環クラブサイクルの実現

目指すべきは、単年度かつ単発的ではない、退会抑止・意欲向上の仕組み化と新たな会員拡大へと繋がる好循環クラブサイクルを持続的に実現することです。





3. GLT委員会からのお願い | ② 短期的施策

各クラブ会長におかれましては、第一副会長（GLT担当）、第二副会長、幹事と連携しながら、新たな会員拡大へと繋がる**好循環クラブサイクルの実現**を目指していくなかで、まずは**年度末の3月末とライオンズ事業年度末の6月末の退会抑止のためのアクションをお願い**いたします。
退会抑止・意欲向上施策の特効薬はありません。まずは足元の状態を見直すようにしましょう。

項目	GLT領域 短期的施策：退会抑止・意欲向上
短期目標	年度末（3月末）、ライオンズ年度末（6月末）の退会抑止に重点
重点ターゲット	例会およびアクティビティへの出席率の低いライオン、参加はしているが、 コミュニケーション が不足しているライオンなどを重点的にフォロー・ケアしてください。
短期的施策 具体的アクション	<ul style="list-style-type: none">✓ まずは、例会、アクティビティへの声かけ✓ オフ会の食事会や懇親会をセットし、個別に声掛け✓ スポンサーと連携したメンターを設定（目線を変える意味で、仕事や趣味、学校・地元経済活動などのライトな繋がりを重視した人間関係の再構築）✓ 今年度入会者については、GLT・GMT共催の第2回入会同期会（5/17開催）への誘導と声掛け（クラブの垣根・枠を越えたネットワーク・人間関係づくりとして有益）✓ 来年以降も継続的に、GLT主催の新会員スクール・交流会、次世代リーダー育成セミナーを有効に活用 などの 有効な退会抑止事例を実施し、リジョン内で共有・展開 するようにしましょう！

3.GLT委員会からのお願い | ③ 中期的施策

項目	GAT領域 中期的施策：現状分析と事業検証
対象	<ul style="list-style-type: none"> 各クラブ会長、第一副会長（今期GLT担当）、第二副会長（次期GLT担当）
考えるポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地区ガバナー基本理念5つの道標4「原因と結果の法則」（※地区ガバナー所信参照：善因善果・悪因悪果）を踏まえたうえで、SWOT分析などのフレームワークを用いて、まずは自クラブの歴史や現状に至る経緯、問題点を構造的に把握することが最重要です。 激変する現代社会において、すべては「なぜそれが成立したのか」という背景を読み解くことがとても大切になってきています。世の中には、様々な人にとって「常識」というものがあり、特に各世代によって形成される常識には、その時代における背景となる「構成要件」というものがあります。それを理解せずに「こういうのが常識」と思い込み、構成要件が変わったにもかかわらず、従来のやり方や考え方にこだわるということが、クラブ運営に限らず、ビジネスや地域経済、社会全体でも様々な問題を引き起こす原因となっています。 一例をあげると、大クラブ・中クラブ・小クラブとクラブ規模に応じて、退会ドロップや参加意欲低減のパターンや傾向が全く異なるにもかかわらず、その原因を踏まえた対策が取られていないということが散見されるように思います。 中～大クラブの課題：関係づくりと役割づくり、そして生涯の師および友づくりなどを旗印として、接触頻度とコミュニケーションの量を増やしていくことで、好循環サイクルへの導線を再構築 小クラブの課題：特定のメンバーに過剰な負担が掛かっていないか、掛かっている場合は業務負荷を見直す、他クラブと連携するなど悪循環サイクルの根本原因を探る努力と対策が必要

地区ガバナー
 所信






ライオンズクラブ国際協会
335-B 地区
調和への道標 一境にひとつの心



3. GLT委員会からのお願い | ④ 優良事例の紹介

退会抑止・意欲向上のための人材育成（GLT）機能を仕組み化している優良事例の紹介

主体	取組内容・優良事例紹介
八尾LC	✓ 会長経験者や中堅メンバーによる、若手メンバーに対する例会後のライトな飲み会や懇親会など積極的な関係作り、形式にはこだわらずコミュニケーションの量と頻度を重視
高槻LC	<div>✓ 例会出席状況ボードを例会場入口に掲示しており、全員が出席状況を見ることが可能</div> <div>✓ 例会出席率の管理90%以上であり、出席率が低いメンバーに対して、こまめな声かけを実施</div> <div></div>
枚方LC	<div>✓ 地区次世代リーダー育成セミナー修了者が音頭をとって、若手メンバーを対象とした合宿型育成研修旅行&懇親会を毎年、クラブ単独で実施している。</div> <div>✓ ゴルフサークルや釣りサークルなど同好会活動におけるメンバー間での関係づくりも積極的に構築している。今後、他クラブとの合同アクティビティへと展開・連携することも面白いと思われる。</div>
枚方ローズLC	<div>✓ 今期会員拡大が2024年内に既に終了しており、並行して次年度準備に入っている。</div> <div>✓ 背景として、クラブ中期ビジョンを軸にした、アクティビティ（GST）⇒会員拡大（GMT）⇒人材育成（GLT）が連動する好循環クラブサイクルがビルトインされており、これがクラブ活性化の原動力となっている。</div>



3. GLT委員会からのお願い | ⑤ 今後の方向性

地区GLT委員会の今後の取組み内容と方向性（案）

主体	今後の取組内容と方向性
地区GLT委員会	<ul style="list-style-type: none">✓ 次世代リーダー育成セミナーの開催（2024-2025年度にて第14期目）：継続✓ GMTとの共催となる、335B地区としては初の新会員同期会の開催：継続✓ 新会員スクールのリジョン内開催：今後、地区主体からリジョン主体へと段階的な移行を検討 ⇒将来的には、RC&地区委員&次世代リーダー経験者主導でリジョン単位での開催を検討 ⇒合宿型若手メンバー育成研修旅行のようなイベント（例：枚方LC）をリジョン・ゾーン・クラブ単位で、あるいはクラブ間で連携して開催するのもクラブ活性化の観点から良いと考えられる。✓ 従来の「ライオンズ・メンタープログラム」を改良し、各クラブの状況と時代の変化を踏まえてアップデートした新たなメンバーシップ・プログラム概念の構築：今後引き続き検討 <div><p>新たなプログラム概念「LIONS “PRIDE” PROGRAM」の構築を今後検討</p><p>Purpose（目的の明確化）：入会メンバーの退会抑止と意欲向上</p><p>Relationship（関係性）：入会メンバーと既存メンバーとの関係性の向上</p><p>Initiative（主体性）：入会メンバーの主体性の向上</p><p>Development（成長）：入会メンバーの成長促進</p><p>Engagement（参画）：入会メンバーへの役割付与、参画機会の提示</p></div>

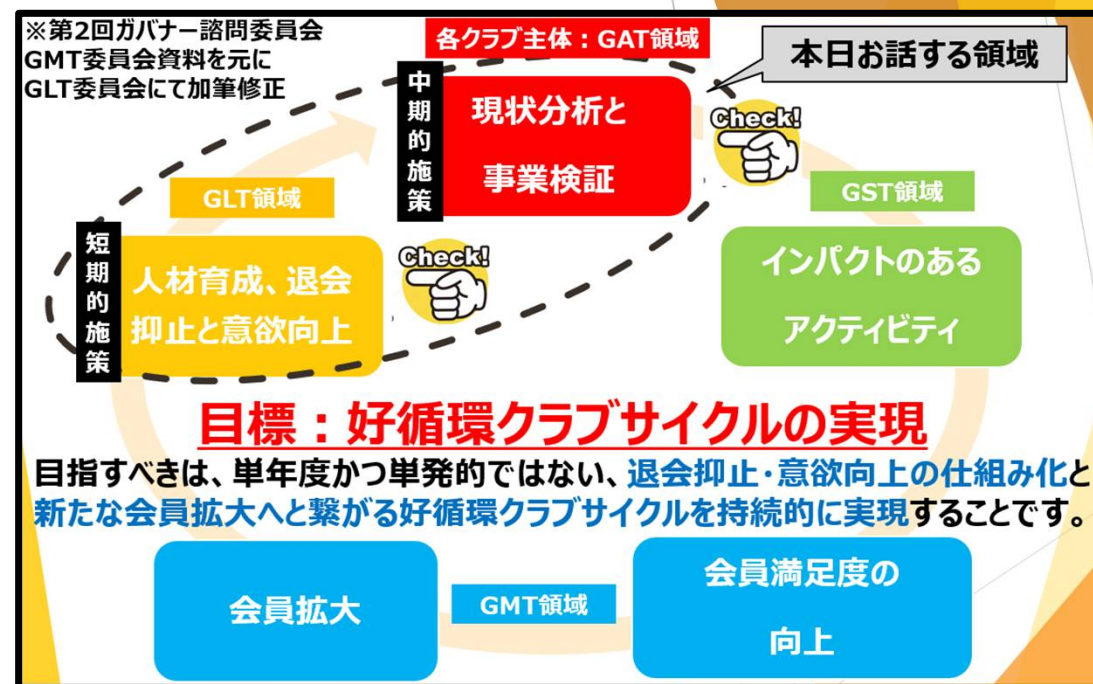


4.まとめと討議・情報共有のお願い

新たな会員拡大へと繋がる**好循環クラブサイクルの実現**を共に目指していきましょう。
意欲向上・退会抑止施策の特効薬はありません。

各クラブ主体での現状分析を起点として、コミュニケーションの量を増やし（**接触頻度の向上**）、例会・アクティビティに声掛けし（**参加度の向上**）、メンバーの役割をつくる（**疎外感の除去**）といった地道な活動の積み重ね無くして、ドロップゼロはありません。

各クラブにおける**成功事例や好事例**を積極的に**情報共有・展開**することで、**ゾーン・リジョン・335-B地区全体へとライオンズの活性化へと**繋げていきましょう！



御清聴ありがとうございました。
GLT・会則委員会一同



ライオンズクラブ 国際協会
335-B 地区
調和への道標 一緒に力を合わせよう

